

令和7年度「おおいた地域連携プラットフォーム」単位互換科目一覧【後学期】

後学期:55科目

大学名	科目名	開講曜限		担当教員	単位数	他大学 受講者総数	対象学年	授業 回数	実施方法			到達目標	備考	大分を創る人材 を育成する力		
		曜日	時限						対面 授業	同時 双方 向型 オンラ イン	オンデ マンド			企業 力	地域 力	汎用 力
大分大学	生命観の変遷	火	1	牧野 治敏	2	10名程度	1～4	15回	●			1.自然科学における「パラダイムシフト」の概念を説明できる。 2.ギリシャ時代、中世、近世の生命観を簡潔に説明できる。 3.ダーウインの進化論と、それ以前の進化論との違いを示すことができる。 4.生物多様性が社会に及ぼす影響を自分の意見を交え説明できる。				
	ユニバーサルデザインと人にやさしい社会	水	1	渡邊 博子	2	10名程度	1～4	15回	●			1.ユニバーサルデザインという考え方が社会で必要とされている理由や背景を理解する。 2.ユニバーサルデザインという考え方を通じて、新たな製品開発やサービス提供のあり方を理解する。 3.ユニバーサルデザインという考え方を通じて、新たなモノづくりの過程や組織のあり方を理解する。 4.ユニバーサルデザインという考え方を中心に、人にやさしい社会のあり方を検討する。				
	情報科学の世界	水	1	理工学部 教員	2	10名程度	1～4	15回	●			1.情報科学における考え方には多くの視点があることに関心をもち、それらを説明できる。 2.世の中にあふれる情報を収集・活用する適切な手段を選択できる。 3.情報科学に関連した技術について興味を持ち、基本的な課題や原理を説明できる。 4.現代社会における情報科学・情報技術の様々な応用場面を把握し、説明できる。				●
	学習意欲の心理学	水	1	鈴木 雄清	2	10名程度	1～4	15回			●	1.学習意欲に係わる心理学の理論を説明できる。 2.学習意欲の問題に対して、解決案を示すことができる。 3.学習者として、意欲を高めるための方策を選択し、活用できる。	すべての回をオンデマンド型の遠隔授業として実施します。			●
	金融とわたしたちの生活	水	2	小笠原 悟	2	10名程度	1～4	15回	●			1.基本的な金融知識を習得する。 2.適切な意思決定を行うためのスキルを養う。 3.貯蓄と投資の意味を理解し、将来の生活設計を主体的に考えられるようにする。 4.倫理的な金融行動や社会的な責任を理解し、実践できるようにする。				
	くらしの化学	水	2	氏家 誠司 衣本 太郎	2	10名程度	1～4	15回	●			1.身近な化学材料や化学製品を説明できる。 2.身近な化学材料や化学製品の特長、役割および問題点を理解できる。 3.身近な化学材料や化学製品の未来について考え、議論できる。 4.日常生活環境に潜在する様々な放射性物質由来の「放射線」について理解できる。				●
	電気の世界Ⅱ	水	2	戸高 孝	2	10名程度	1～4	15回	●			1.電気磁気に関する基本的な用語を理解し、説明できる。 2.電気磁気に関連した現象とそれを支配する法則を説明できる。 3.基礎的な電気回路や磁気回路の計算ができる。 4.電気磁気現象を応用した工学技術を説明できる。				
	インストラクショナルデザイン入門	水	2	鈴木 雄清	2	10名程度	1～4	15回	●			1.明確な目標の設定やテストの作成、教授方略を用いた教材の設計ができる。 2.インストラクショナルデザインの基礎に従って、独学を支援するための教材を作成できる。 3.形成的評価を実施し、よりよい教材にするために改善策を提案できる。		●		
	社会教育経営論	水	2	岡田 正彦	2	10名程度	1～4	15回	●			1.社会教育経営の考え方について簡潔に説明できる。 2.地域課題の現状を踏まえ、改善の提案ができる。 3.連携・協働、ネットワークの必要性について簡潔に説明できる。 4.地域課題解決の提案をメンバーと協力して作成する。				
	医学史のプロムナード	水	3	甘利弘樹	2	10名程度	1・2・3・4	15	●			1.西洋医学史を世界史の動きの中で理解するきっかけを創出できる。 2.西洋医学の形成・発展に貢献した主要人物(世界・日本)について説明できる。 3.日本の西洋医学受容の過程とその意義を分析できる。	グループワークを行うことがあります。動画の視聴に基づく演習があります。LMS(Moodle)を活用します。		●	
	ジェネリックスキル養成2	集中	－	鈴木 照夫 他	1	10名程度	1	8回 (2日間)	●			1.チームにおける自己の役割を理解し、それに沿った行動ができる。 2.大分について考えることができる。 3.対象とする地域課題について必要な知識を獲得し、問題点の分析に活用することができる。 4.対象とする地域課題について、自分の意見を述べることができる。 5.対象とする地域課題に関する解決策について、適切な手段を用いて表現することができる。 6.リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。	春期休業中(2月上中旬頃)に実施予定。 ＜協働実施科目＞			●
	大分の地域ブランド創造体験	集中	－	吉村 充功	2	10名程度	1～3	15回 (4日間)	●			1.他者と協働して活動を行い、テーマについての対応計画をまとめ、他者にわかりやすく提案することができる。 2.地域での活動を体験して情報収集・分析し、テーマに関する地域社会が直面する課題を明らかにすることができる。 3.地域企業が抱える課題を知り、地域資源を活かした商品開発を提案することができる。 4.地域が抱える課題を知り、地域資源を活かした柔軟性を保った活性化策の計画立案を行い、提案することができる。	春期休業中(2月下旬～3月上旬頃)に実施。低学年優先。地域で1泊2日の合宿を2回 ＜協働開発科目＞		●	
	起業学	－	－	長崎 浩介 他	2	5名程度	2～4	15回			●	・起業への関心を高め、起業についての意欲を持つ。 ・起業の歴史、実際のベンチャー企業への理解を深めるとともに、起業に関する会計などの周辺知識を習得する。 ・課題(レポート)の記述を通して、論理的な表現能力を高める。 ・起業に関する学びを通して、思考・判断・創造力を高める。	メディア授業(オンデマンド)として毎週実施。	●		

日本文理大学	コンピューターミュージック基礎	月	1	星芝 貴行	2	数名程度	1～4	15回	●		この科目の目的は、音楽に関する基礎知識を習得することです。具体的には、音楽の記述に関する知識（記譜法）と拍子・音階・和音に関する知識を、実際にキーボード（鍵盤楽器）を操作しながら身につけます。さらに、コンピューター上の音楽ソフトウェア（MIDIシーケンスソフト）を用いて、コンピューターミュージックの基礎知識、電子楽器の基礎知識、メロディーの入力方法とアレンジソフトウェアの操作方法、メロディーの創作方法を学習し、簡単なコンピュータ音楽作品の制作を行います。				
	モダンデザイン	月	2	石井 翔大	2	数名程度	2～4	15回	●		産業革命がもたらした技術的・社会的変化を学び、モダン・ムーブメントの大きな流れと獲得された近代建築の鍵概念を理解すること、また近現代の建築・インテリアの歴史的価値を多様な観点から考察し、今日の新たなデザインを考えるための基礎的能力を獲得することを目的とします。				
	コンピューターグラフィックス基礎	火	1	足立 元	2	数名程度	1～4	15回	●		この授業では2DCGを扱い、画像の生成と加工のための基礎概念を学びます。情報メディアの特性を生かしたより良い視覚表現を求め、デジタルコンテンツの創造力を高めるために必要とされる知識と技術を学びます。デジタルコンテンツ制作に関する訓練課題を通し技術的側面とデザイン的側面の両面から、2DCGによる表現について探求します。				
	ブランド学	火	3	山内 勝義	2	数名程度	2～4	15回	●		1.ブランドの持つ意味、背景に興味、疑問を持つ。 2.各ブランドが展開しているマーケティング手法の理解。 3.ブランド戦略の基本的な仕組みを他のブランドとの比較も含めて説明できる。 4.特定のブランド展開の実例について評価、批判、修正点などを指摘できる。				
	森里海連環学と地球的課題	火	5	池畑 義人 他	2	5名程度	1～4	15回	●		・自然と人間生活の関わりについて理解するために意欲的に学習に取り組むことができる。その成果として、毎回の講義で出題される課題を提出できる。 ・地球の成り立ちと現状、および里海・里山の成り立ちを理解し、自然環境を理解するための基礎的なことを理解している。その成果として、レポートと中間テストで適切な解答ができる。 ・グローバルとローカルの両面から自然環境の問題を認識できて、それをレポートにおける適切な様式で表現できる。 ・自分たちの生活が自然環境に対してどのようなインパクトを与えているのか判断することができる。その結果をレポートと中間テストで適切に表現できる。			●	
	ランドスケープ	水	1	福田 健	2	数名程度	3・4	15回	●		ランドスケープでは、環境保全、低炭素化をはじめとした地球温暖化対策や生物多様性の保全など、開発と環境保全とをバランスさせた、持続的な社会の形成がグローバルな課題となっている。ランドスケープづくりやその管理に、どのような人々が、どのような考えで、そしてどのような技術をもって関与しているのかについて紹介することを目的としています。			●	
	まちづくりマーケティング	水	3	今西 衛	2	5名程度	2～4	15回	●		1.まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。 2.まちの活性化に必要なこと、マーケティングの知識を身につけてもらいます。 3.調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。 4.まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、まちを経営するという視点からの政策提言などを身につけてもらいます。			●	
	スポーツ経営学	木	2	竹田 隆行 他	2	数名程度	2～4	15回	●		1.スポーツ経営学（マネジメント）に必要な知識や倫理観を身につけるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。 2.スポーツ経営学（マネジメント）の専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。 3.変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツビジネスの現場で課題解決できるマネジメント能力を生かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。		●		
	日本国憲法	木	4	大西 貴之	2	数名程度	3・4	15回	●		1.社会における憲法の重要性を理解し、身近な人権問題やその他憲法問題に関心を持つようになること。 2.法（特に憲法）についての基本的な考え方や原理を理解すること。 3.憲法学上の専門的な用語や言い回しについて正確に説明できるようになること。 4.現実の具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること。				
	自動車工学1	金	1	清水 良	2	数名程度	2～4	15回	●		自動車の種々の性能について学習します。この学習を通して、自動車の構造物としての技術の進化、社会における存在価値、産業としての影響等を理解し、技術者の視点から将来における自動車（機能を持った工業製品を含む）のあるべき姿を自ら考えるトリガーとします。 なお、本授業は機械電機工学科のディプロマ・ポリシーを考慮しています。				
立命館アジア太平洋大学	宇宙工学概論	金	1	中川 稔彦	2	数名程度	1～4	15回	●		本講義では宇宙機器の対する工学的知識を広く学び、関連専門課程へ進む上での基礎を養います。航空宇宙工学科ディプロマポリシー「航空機や宇宙機器の設計・製造・運航・整備に関して基礎理論及び知識を体系的に理解している。」を目指し、宇宙空間の環境や利用上の課題に対する正確な認識を明確に持つことをまず第一歩とし、宇宙機の開発・設計や宇宙利用全般に特有な工学面での基礎知識を幅広く学び知ること、他分野を含めてそれらの応用がどのように可能かアプローチできる素養を身に着けることを目的とします。これらは、幅広い視野に立って産業界の要請に応える専門知識と実践的応用力を発揮できるようなエンジニアへの基盤となります。				
	NPO・NGO論	金	3	高見 大介 他	2	5名程度	3・4	15回	●		1.授業での積極的な発言や、ワークショップ等での参加意欲を示すことが出来、積極的に発言できる。 2.NPO・NGO活動の具体例を知ること、現代社会でのNPO・NGOの果たす役割・機能を理解できる。 3.NPOの活動に直結する地域の魅力発見をするとともに、課題解決に向けてのビジョン策をチームでまとめることができる。 4.ワークショップ活動を踏まえて、現実的なNPOの活動計画を立案できる。	後半授業は佐伯市中心部で12月6日（土）に実施予定		●	
	生涯スポーツ指導	金	3	武田 正芳 他	1	数名程度	3・4	15回	●		1.スポーツを楽しんでいる。 2.各種目のルールや技術を習得している。 3.実技を通じコミュニケーション、リーダーシップ、協調性や自己表現力を養う。 4.生涯にわたり積極的にスポーツ活動に参加しようとする態度と実践能力ならびに指導力がある。				
別府大学	グローバルと文化	金	3	上野 淳也	2	10	1～4	15回	●		・グローバルな視野をもち、それら地域の伝統や文化、歴史、食、資源の魅力や価値を認識する。 ・グローバルな視点をもち、それら地域の伝統や文化、歴史、食、資源の魅力や価値を認識する。 また地域にある温泉資源を理解し、温泉の種類、温泉の効用、温泉の地熱利用の知識を取得できる。			●	
立命館アジア太平洋大学	専門実習	水	3・4	久保 隆行	2	5	3・4	14回	●		・本授業終了時に以下の3項目を達成していることを目標とします。 1.フィールドワーク対象地域の経済、社会、歴史、文化、風土を理解する。 2.フィールドワーク対象地域の地域資源を明らかにしたうえで、その地域ならではのツーリズムの在り方を多角的に考察する。 3.フィールドワーク対象地域の課題を見出したうえで、持続可能な観光地域づくりの方策を提案する。	講義のほかフィードスタディやグループワークも実施予定。		●	

大分県立 芸術文化短期大 学	経営学総論	火	1	秋庭 淳志	2	5名程度	1・2	15回	●			1.経営学の基本的な概念・理論を簡単に説明することができる。 2.経営理論と企業経営の事例を関連付け、経営における工夫を例示することができる。 3.生活をする上で経営学的なものの見方を活用できる場面を述べることができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	地域社会特講Ⅱ	火	1	綾部 誠 藤原 厚作	2	5名程度	1・2	15回	●			1.事前に配布する各回ごとのテーマについて予習する、2.講義を聞き内容をまとめる、3.まとめた講義内容を予習した内容 および自分の経験と関連付けて毎回レポートにまとめる、4.関心のある活動に参加する。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	情報社会論	火	2	安倍 尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●			1.マスメディア、個人メディア、SNS等新しいメディア技術の歴史、機能、自分との関わりについて説明できる。 2.メディアが現代社会（経済、政治、文化）にどのように関わっているか学び、事例や理論・考え方を踏まえて、自らレポート 等で表現できるようにする。 3.メディアから受けとる情報を柔軟性をもって主体的に受けとめ、批判的に読み解く基本的な能力が身につけている。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	世界遺産論	火	3	畴谷 憲洋	2	5名程度	1・2	15回	●			1.世界遺産について、その意義や重要性を認識するとともに、日本や世界の代表的な世界遺産を、高校で習得した地理・歴 史の知識を確認しながら学習し、世界遺産についての理解を深め、観光系の科目を中心に今後の学習に生かせる基本知 識を習得する。 2.NPO法人世界遺産アカデミーが実施している「世界遺産検定12級・3級受験への対策としても役立つ基本的知識を習得	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	メディア・コミュニケーション	火	3	吉村 聡志	2	5名程度	1・2	15回	●			1.メディアで情報を発信することを正確に把握する。 2.「映像コンテンツ」と「広告」の関係を把握する。 3.メディアで扱われる情報に付帯する意図、背景を理解する。 4.メディアにおける「表現」と「解釈」を理解する。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	社会福祉論	火	4	織部 誠	2	5名程度	1・2	15回	●			1.社会福祉の概念と歴史を知る。 2.現代の社会福祉について、どのような問題があるかを知る。 3.それぞれの問題の原因・課題と対応する制度を理解する。 4.少子高齢化社会における福祉制度の在り方と社会福祉の方向性について自らの考えが持てるようになる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	メディア論	水	1	吉村 聡志 村上 信子	2	5名程度	1・2	15回	●			1.メディアの歴史（現代のメディア環境に至るまでのプロセス）とその背景を理解する。 2.現代メディアを牽引する動画メディアの特性を理解する。 3.メディアと広告の関係に関して理解する。 4.メディアが抱える課題を理解する。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	現代生活論	水	1	安倍 尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●			私たちの生活は、政治・行政の制度や法律だけでなく、「当たり前のこと」「流行」などの目に見えない規範や文化など、社会 的に条件づけられています。また、日常の中のふとした光景に、マーケティングや政治に関する戦略が含まれていることも あります。この講義では、それらの社会からの影響とうまく折り合いをつけながら、自分の生活をデザインしていける人にな れるような知識の習得、課題の分析、文章作成を到達目標として、専門分野「社会学」に関して学んでいきます。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	広報・宣伝論	木	3	村上 信子	2	5名程度	1・2	15回	●			1.広報と広告の違いを理解するとともにそれぞれの役割を理解する。 2.リスク管理とコンプライアンスの意識を身につける。 3.「ニュース・リリース」を実際に書いてみる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	少子高齢社会論	木	4	綾部 誠	2	5名程度	1・2	15回	●			1.少子高齢社会の現状と原因を理解できる。 2.過疎地域における少子高齢化の状況を把握し、地域的格差を理解する。 3.少子化や高齢化に伴う社会的・制度的な問題について理解できる。 4.少子高齢化の時代を乗り越えるための自分なりの考えが持てるようになる。 5.本講義を踏まえて地域活動に主体的に参加する。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	経済学	金	1	秋庭 淳志	2	5名程度	1・2	15回	●			1.経済の基本的な仕組みを簡単に説明することができる。 2.経済現象が自分たちの生活に与える影響を例示することができる。 3.生活をする上で経済学的なものの見方を活用できる場面を述べることができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	観光資源論	金	2	高瀬 圭子	2	5名程度	2	15回	●			1.観光資源に関する基本的な知識を身につける。 2.ヨーロッパと日本の多様な事例を学ぶことによって、観光資源についての知見を広げる。 3.具体例を通じて、観光資源を見出し観光地形成へと発展させる方策を学ぶ。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
	文化交流史	金	4	畴谷 憲洋	2	5名程度	2	15回	●			1.ヨーロッパ勢力の海外進出と世界の一体化の過程について、基本的概念と基礎知識を習得する。 2.多様な文化交流の歴史展開を学ぶことを通して、多様な人間のつながりについて国家の枠にとどまらず多角的に考察す る態度を身に付ける。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録 が必要となります			
大分短期大学	園芸療法Ⅱ	金	1	小石 鉄兵	2	5名程度	1～4	15回	●			1.授業で取り扱った疾患や障害についての基礎的特徴を理解できる。 2.園芸療法の評価方法の選択ができる。さらにクライアントに対する園芸療法プログラムを作成することができる。				
別府溝部学園 短期大学	温泉コンシェルジュ応用	集中	2月	坂田 守史	2	5名程度	1～4	15回	●			1.別府や近隣エリアの地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 2.多様な情報を収集し、顧客の滞在価値を高めるツールを作成できる。 3.人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 4.顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為の提案を行うことができる。	フィールドワーク有り		●	
	大分学	火	2	檜本 譲司 他	2	5名程度	1～4	15回	●			1.大分県内の特色（歴史・人物・文化・産業 等）について学ぶ。 2.大分県の魅力を全国に発信することができる。	フィールドワーク有り		●	
	温泉文化と活用	水	3	安達 美和子 他	2	5名程度	1～4	15回	●			1.温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 2.他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 3.職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。	フィールドワーク有り		●	
	ICTと社会	金	2	矢野 歩美 他	1	5名程度	1～4	15回	●			1.情報社会の現状を理解し、健全な情報社会の一員として社会に参画できる。 2.情報リテラシーを身に着ける。 3.受け取った情報を活用し、自身の考えを他者へプレゼンテーションする力を身につける。				●
	中国語Ⅱ	木	1	里中 玉佳	1	5名程度	1～4	15回	●			1.中国語の基礎的なコミュニケーションのスキルを向上できる。 2.文化体験授業を通して、中国に対する理解を深めることができる。				●

	日本の文化・着付けⅡ	金	2	笠木 扶美	1	4名程度	1～4	15回	●		1.着物の種類や和装一式の名称を覚えることができる。 2.袴、振袖の着付け、帯結びを習得することができる。 3.和装の心得について知ることができる。			●
	温泉医療療養指導論	火	3	平田 芳子	1	5名程度	1～4	8回	●		1.健康増進にむけた温泉の利用法が説明できる。 2.安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げることができる。		●	
	温泉入浴指導概論	集中	2月	平田 芳子	1	5名程度	1～4	8回	●		1.温泉の観光・健康・医療・食等の総合的な企画プログラムを提案できる。 2.温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係を説明できる。 3.温泉を活用した健康づくりや温泉との関係に限らず広く癒しや健康増進プログラムの指導ができる。		●	
大分工業高等専門学校	社会技術概論	未定	未定	内田 龍之介	2	4	3・4	15回	●		1.公共政策学に関する基礎的な理論や実際について理解する。 2.社会学に関する基礎的な理論や実際について理解する。		●	
大分県立看護科学大学	人間関係学	火または木	4	吉村 匠平	1	5名程度	1	8回	●		1.人が人を理解するというのがどのような営みなのか、心理学における2つの方向性を説明する。 2.講義で理解したことを、パラグラフライティングの手法を用いて簡潔にまとめる。 3.個人が抱える人間関係上の問題に、学習した内容を適用する。 4. 学ぶことが個人の内側に閉じた活動ではなく、他者に開かれた活動であることの具体例を挙げる。 5. 学習課題に取り組むために、周囲の学習者とのコミュニケーションをとる。 6. 自分自身の学習の進捗状況を把握したうえで、適切な学習行動をとる。			●
	カウンセリング論	金	4、5	関根 剛	1	数名程度	1	8回	●		1. カウンセリングの基礎的なスキルを説明できる。 2、ロールプレイを行って、10分間以上会話を継続し、複数回のあいづち、繰り返し、開いた質問、言い換えをして、最後に要約ができる。 3. ロールプレイを通じて、自分のコミュニケーションの癖に気づいて、記述することができる。 4. カウンセリングが看護や保健室などの場面、自分自身のメンタルヘルスにどのように役立つのか説明できる。			●
	発達心理学	月または火	4または2	吉村 匠平	1	5名程度	2、4	8回	●		1.進化という視点から、種の発達プロセスを概観し、発達を進化の所産として説明する。 2.進化という視点から、人間の発達に関する事象を説明する。 3.ヒトの発達プロセスを理解・説明するために必要な心理学の概念と知識について、簡潔に説明できる。			●
	行動療法論	木	1または2	関根 剛	1	数名程度	2～4	8回	●		1.行動変容の基礎理論について説明できる。 2.自身の行動変容プログラムを作ることができる。 3.他者の行動変容を促進する具体的な方法を提案できる。			●